

【別紙1】調査地点の選定

調査地点は、調査候補地点に到達する気塊のトラジェクトリー解析した結果から、中国大陸等からの気塊が到達する頻度が高く、わが国のバックグラウンド濃度を的確に把握できる「辺戸岬」及び「隠岐」の2地点とした。

表 バックグラウンド地点地域における試行調査地点

No	地点	
	沖縄県辺戸岬	国立環境研究所辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーション
	島根県隠岐	国設酸性雨測定局

なお、バックグラウンド地点としての、両地点の特徴、違いは次のとおりである。「辺戸岬」と「隠岐」ではバックグラウンド地点としての特徴が異なり、両地点での測定を行うことで、中国大陸、朝鮮半島、日本、太平洋、日本海における有害金属類の輸送を把握できる。

地点	バックグラウンド地点としての特徴
辺戸岬	沖縄本島の北端に位置し、中国大陸や朝鮮半島からの気塊が到来する頻度が高く、また東南アジアなど南方からの気塊や、バックグラウンドである太平洋の気塊をとらえることも可能である。東アジアにおける有害金属類の分布と輸送の把握に適した地点である。
隠岐	隠岐は島根半島の北約 80km の海上に位置し、調査地点として選定した酸性雨測定局は島の西端にある。中国大陸や朝鮮半島からの気塊が到来する頻度が高く、また日本海側を輸送される北方からの気塊をとらえることが可能である。また、夏季の南よりの風るときには、日本からの気塊をとらえることができ、同時期の辺戸岬でえられる太平洋気塊との比較により、日本の影響を把握することも可能である。

「調査地点候補位置図」(第1回検討会資料より)

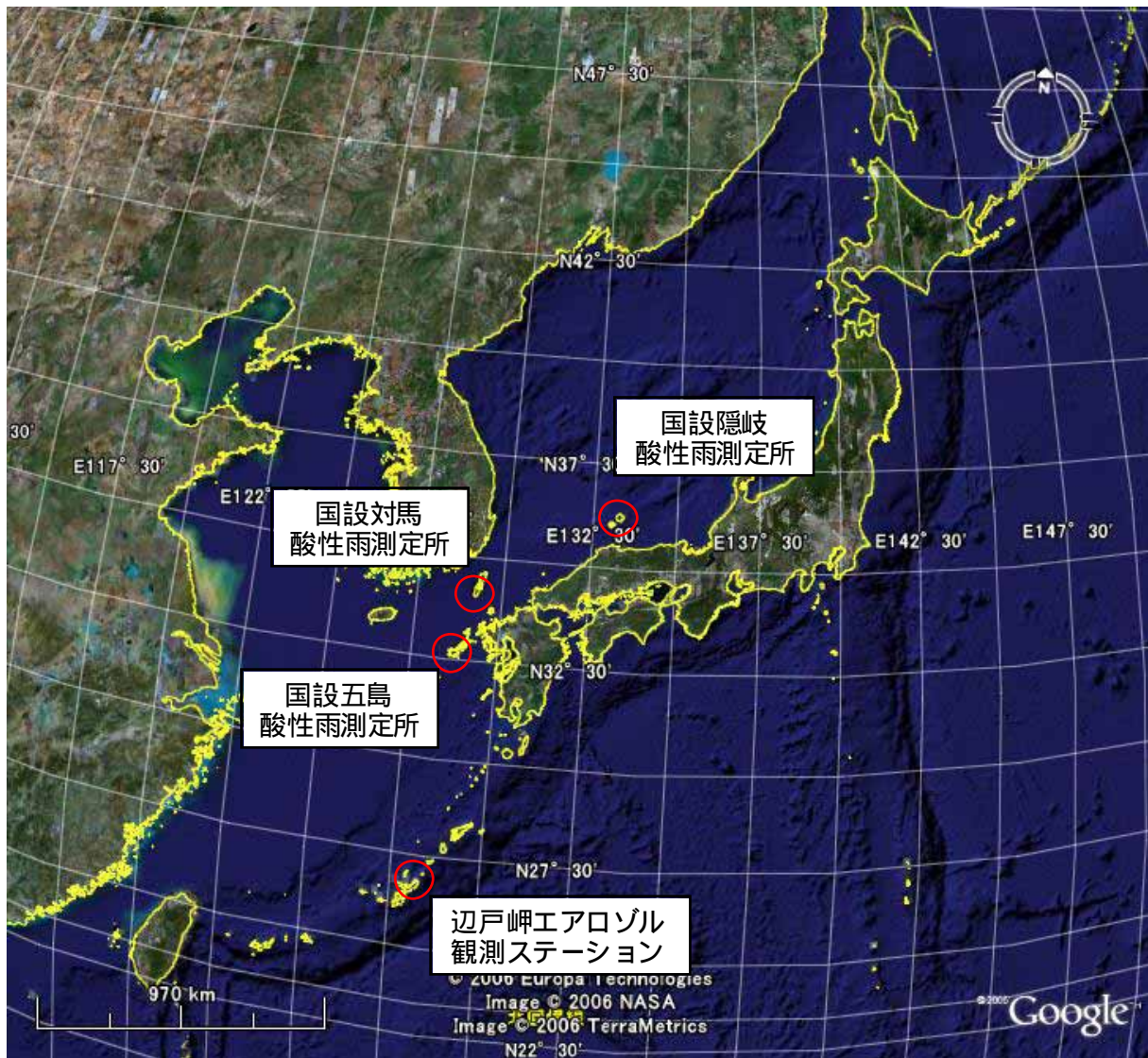


図 監視候補地点位置

トラジェクトリー解析結果

